

『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』

レポート資料を販売開始

～「アクティブRFID」主要プレイヤー（12社・団体）の取り組み
最前線（最新ビジネスの実態）／用途・適用分野別関連市場規模
算出（実態市場規模、潜在市場規模）／将来予測（今後5年後ま
での市場規模推移・予測）！～

『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』 レポート資料を販売開始

～

「アクティブRFID」主要プレイヤー（12社・団体）の取り組み最前線（最新ビジネスの実態）／用途・適用分野別関連市場規模算出（実態市場規模、潜在市場規模）／将来予測（今後5年後までの市場規模推移・予測）！ ～

≫ 『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』 資料詳細・販売ページ

<http://planidea.jp/cc/psr120120120>

マーケティング・リサーチ&コンサルティングサービスを提供するPLANiDEA LLC.

（プラニディア合同会社）は、株式会社 ESP総研による

『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』の販売を開始しました。

≫ 『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』

<http://planidea.jp/cc/psr120120120>

【資料概要】

アクティブRFIDのビジネス適用分野・ターゲット118セグメント別に、ポテンシャル・ターゲット視野／重点領域を分析&マッピングで俯瞰！アクティブRFID関連ビジネス市場の全貌と実態・将来の見通し、主要サービスの事業戦略・差別化戦略などビジネスモデル分析やケーススタディも！

当資料 『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』

は、アクティブRFID関連ビジネスを積極的に展開している主要各社〔日本国内12社・団体〕の差別化戦略、ならびに日本国内における「アクティブRFID」ビジネスの現状を多面的に調査&分析した結果をまとめたレポートです。

1. 調査対象リスト一覧 編

- 1) 調査対象プレイヤーの抽出方法：「アクティブRFID（ビジネス）」プレイヤーは？
- 2) 「アクティブRFID」ポテンシャル・プレイヤー×マーケティング・マトリックス

(66社／部門)

11. 総括 編

- 総括 (結論) : 主要各社における 「アクティブRFID」
ビジネスの現状分析とコンサルティング

- 1) 「アクティブRFID (ビジネス)」 の定義範囲について
- 2) 市場概況 (結論) × ライフサイクル・フェーズにおける現状のポジション & 今後のシナリオ予測
- 3) 全社売上に占める当該売上比率
- 4) 当該売上額 (TOTAL) = 「アクティブRFID」 ビジネス市場規模推移 <2010年度～2014年度>
- 5) ビジネスモデル別 当該売上額推移 (2010年度～2014年度) の換算、構成比率 (%)
推移 <2010年度～2014年度>
- 6) 「アクティブRFID」 (ビジネス) の当該市場規模 (感)
- 7) ビジネスモデル×売上実績・予測から換算できる当該ビジネスモデル別
当該売上の変化・シナリオ / 売上構成比率 (%) の変化・シナリオ 【 2010年度～2014年度】
<1>当該ビジネスモデル別 売上推移
<2>当該ビジネスモデル別 売上構成比率 (%) 推移
- 8) 「アクティブRFID (ビジネス)」 の市場占有率<シェア>ならびに当該売上ランキングについて
- 9) 「アクティブRFID (ビジネス)」 の競合認識、参入プレイヤー数認識 (基本的には国内での認識)
- 10-1) 「アクティブRFID (ビジネス)」 シーズ別 (平均販売実績) 価格帯×当該売上
相関クロス
- 10-2) 「アクティブRFID」 に占める電源・電池比率 (価値比率%、料金・コスト比率%)
- 11) 「アクティブRFID (ビジネス)」 × 「適用分野」「販売ターゲット」 (現状) コンサルティング
、「適用分野」別 合計点数 (裏付け) 検証 有望度 (全体) × 実績 (多少) クロス
MAP、適用分野、販売ターゲット<現状> × 俯瞰図 <<118セグメント別×分類>>
- 12) 「アクティブRFID (ビジネス)」 実態市場・潜在市場規模推移 「2010年度 (実績) /
2014年度 (予測) 」 (主要12社・団体 合計) <適用分野×主要セグメント別>
- 13) 「適用分野」別比率シェア調査結果
- 14) 「技術クロス分布」

- 15) 「ビジネスモデル」集計&分析、2010年度 実績×数量<抽出件数>ベースなど
- 16) 「販売チャネル」 (全体俯瞰)
- 17) 「重点戦略 (直接的/間接的)」×「抽出重複件数 (多い/少ない)」、「重点戦略 (他社との差別化戦略)」
- 18) 「個票分析 (12社・団体)」×「重点戦略 (他社との差別化戦略)」
- 19) 開始時期×当該単年売上規模 (2010年度 実績) の相関 (XY軸) 統計、当該単年売上規模 (2010年度 実績) の相関 (XY軸) マッピング
- 20) 導入実績 (累計数量ベース) ×金額ベース (当該単年売上: 2010年度 実績) から言えること、金額ベース (当該単年売上: 2010年度 実績) の相関統計、導入実績 (個々の金額ベース) × (当該単年売上: 2010年度 見込) 金額ベースから言えること
- 21) 前年比伸長率から見えてくる当該市場概況<前年比伸長率×コメント・キーワード×当該単年売上規模 クロス>
- 22) (今後の数値) 目標 (数量ベース、金額ベース) ×当該売上規模 (2010年度 実績) クロス
- 23) 今後の売上計画×当該売上規模 (2010年度 実績) クロス
- 24) 「市場拡大要因」 分析
- 25) 「市場阻害要因」 分析
- 26) 「ユーザー事例」 分析
- 27) 「アクティブRFID」を取り巻く市場概況 (「アクティブRFID」事業の外部環境 全般) ※ [2011年3月11日](#) の大震災時期と比較
- 28) 「アクティブRFID」ビジネス
主要ベンダ・団体 (今回、深堀調査実施: 主要12社・団体) 当該売上予測 (2010年度~2014年度: 5カ年) 推移×ビジネスモデルMAP 一覧
- 29) 「アクティブRFID」ベンダ×価格定義&具体的な価格指標一覧(12社・団体)
- 30) 「アクティブRFID (ビジネス)」×適用分野 マトリックス一覧 (企業別×適用分野別 星取表) <118セグメント>、適用分野 マトリックス一覧
点数化 (適用分野有望度MAP: 俯瞰図)
、分野・対象別×全体に占める「適用分野 (着眼点と実績)」比率、売上換算(主要12社・団体) マトリックス一覧 (当該売上、「アクティブRFID」ビジネス換算売上×ランキング) <<118セグメント>>

31)

「アクティブRFID」ビジネス×実態調査結果・マトリックス<企業・団体別×調査項目別> (12社・団体分)

III. 個票要約 編 (訪問調査中心)

- 1) 当該主要12社・団体の戦略ケーススタディを深堀ヒアリング&レポート
- 2) 当該主要プレイヤー×共通ヒアリング項目 ⇒質問項目 (大項目⇒10項目) +基礎データ (会社データ)

【『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』のポイント】

- アクティブRFID関連ビジネスを展開する主要 [12社・団体] に独自取材!
- 各社・団体の戦略重点/差別化戦略/売上計画など多面的に調査&分析!
- アクティブRFIDビジネス適用分野 (ターゲット) 118セグメントを抽出!
- 重点ターゲット分野別のポテンシャル探索・評価他、多面的に分析!
- アクティブRFIDビジネスの各市場規模をビジネスモデル別に算出!
- セグメント別アクティブRFIDビジネス実態/潜在市場規模推移と予測も!

【『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』 調査概要】

[調査対象]

- 1) Web上にて「アクティブRFID」と言及している事業者 (プレイヤー)
<66社・団体>すべてにアプローチし、訪問取材依頼を行った。その結果、累計12社・団体 (取材依頼企業全体の18.2%) が深堀取材OKを出した。
- 2) 但し、
Web上にて「アクティブRFID」と言及している事業者 (プレイヤー) <66社・団体>のうち、取材拒否
(当該ビジネスを展開しているものの、現時点では当該ビジネスを積極的に推進していない当該プレイヤー、または当該ビジネスを展開しているものの、実績がほとんどなく、取材に答えられるだけの実態データがない当該プレイヤー)
が45社・団体も見られたことから、実質的な当該プレイヤー
(当該ビジネスを着実に推進しているプレイヤー) は合計で21社・団体に絞られる。
- 3) 仮に日本国内における実質的な当該プレイヤー
(当該ビジネスを着実に推進しているプレイヤー) を21社・団体と捉えると、今回深堀取材OKした当該プレイヤー12社・団体で当該プレイヤー全体の57.1%を占めることとなる。
- 4)
従って、今回実施した調査で得られた「調査結果」(データ)は、当該主要プレイヤー12社・団体から得られた多面的な「深堀データ」であり、日本国内における「アクティブRFID」ビジネスの現状(実態)を十分網羅・把握できるだけの「マーケティング・データ」となっている。

[調査方法]

専門調査員による訪問取材並びにメールによる追加的な情報収集、独自データベースの活用により調査・分析（主は訪問取材）。

[調査&レポート期間]

2011年9月6日（取材依頼開始）～2011年10月12日

まで深堀調査（訪問取材、電話にてフォロー取材）を実施した。その後、レポートिंग（集計&分析）を実施し、2011年11月19日に集計&分析ならびにコメント化終了。

【『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』 -はじめに- より】

「エネルギーハーベスティング（環境発電）」
がもたらす新たな社会創造、市場創造、ならびに「エネルギーハーベスティング（環境発電）」に関する新市場創出、新市場探索が最重要課題となっている。

「エネルギーハーベスティング（環境発電）」の最重要応用（活用）分野が「センサーネットワーク」市場と言われている中、「センサーネットワーク」を代表する「電池を内蔵したアクティブ・タグ（RFID）」の適用分野を多面的に調査することで、いち早く「エネルギーハーベスティング（環境発電）」の新市場分野を模索・発見し、これから5年先・10年先の製品開発、サービス開発、ソリューション開発に活かしたい！とする最先端企業が急激に増えている。

同時に、「センサーネット」ビジネスに包含される「アクティブRFID（タグ）」ビジネスが実態的にどの程度進み、短期的かつ長期的に見てどういった分野（セグメント）でどの程度の市場（規模）が見込めるのか？時間軸別に市場浸透ロードマップを客観的にチェックし、「アクティブRFID（タグ）」先端&有望ビジネス・シーズの「セグメント&ビジネスモデル別 有望度評価」「セグメント&ビジネスモデル別（実態／潜在）市場規模」を定点観測しながら多面的且つ網羅的に市場全体を俯瞰することが継続的に求められている。

「アクティブRFID（タグ）」
社会におけるIT利活用の高度化や多彩なサービスの実現には、ヒト・モノ・エリア（周辺環境等）の状況を正確に感知（センシング）・認識し、状況や（屋外、屋内、その中間といったエリア・セグメント毎の）環境に即した最適なサービスへと結びつけるための「WiFi」「ミリ波」「Bluetooth」「無線LAN」「ZigBee、ZigBeeなどの組み合わせ」「アクティブRFID」「センサーネットワーク全般」「UWB」「テレビホワイトスペース」「アナログ無線」「セミパッシブ」「センサー（温度、運動、衝撃など）」「微弱無線系／微弱300MB」「電池交換技術（技術革新）」「無線通信関連」「BAP」などといった技術が不可欠となっている。

この一連の技術の実現により、下記のような分野で幅広い社会・経済活動への寄与が期待されている。特に、今後の少子高齢化社会、新エネ・省エネ・環境推進社会に向けて着実に安全・安心・エコな社会を実現するために「アクティブRFID（タグ）」の果たすべき役割は大きいと言えるだろう。

(適用分野例)

工場、工場ライン、オフィス、オフィス移転、病院、食の安全、食品、人、人×介護×夜間サポート、人の安全、物流、物流センター、物流の倉庫、物流分野、倉庫、セキュリティ、医療機器、介護、老人の徘徊、介護施設、産業系、市、小学校、大学、通学路×学校、登下校、入退室や出入りの管理、入退室管理、
PC、PC本体、お年寄り、老人、老人介護施設、グリーンIT、スポーツ計測、スポーツ分野、データセンター、トラック、パレット、パレットレンタル、パレット管理を行っている事業者、プラント、マラソン、安心・安全分野、医薬品（血液など）、学校、研究室、研究所、公共スペース、公共系、社会インフラ、車両、車両通過（ゲート）、製造業、設備保全、アミューズメント（アトラクション）、カゴ車、カジノ×VIP、コンテナ、コンビニ、コンピュータ室、スーパー、スマーターフィッシュ（魚：発泡スチロールの運送管理）、セミナー会場、トライアスロン、バラ園×鉢、ビール、ビニールハウス、フォークリフト、ヘルスケア（健康診断）×尿や血液、レスキューチーム、ローラー大型建機、ロールの芯（1～1.5メートルのロール）、安全（危険エリア）、医者、医療、運輸、園児、温室栽培、化学品、家（×徘徊）、花、絵画、街全体の安心・安全、看護師、観葉植物×植木×水、危険防止、機材、刑務所、計器、建設現場、検査機器、検査装置、工具、工事現場、工事車両×車、高山、穀物、骨董品、作業員、作業現場、子供、事務所、児童、自治体、自転車、社員証、塾、書、職場、水産物、生酒、生鮮食品、精密機器、精密検査室、赤ちゃん、設備装置、船、総務部門、測定器、台車、大型工事現場、地域、中高一貫の学校、展示用携帯電話、店舗、電機会社、動物、道路、独居（一人住まい）、認証取得をしようと考えている企業の総務部門、美術品、複合競技、保育園、毛皮、羊毛、着物、輸液ポンプ、幼稚園、流通、冷凍食品、冷蔵食品、徘徊者等

「アクティブRFID（ビジネス）」に対する注目度が高まってから（2004年以降）というもの、「アクティブRFID（ビジネス）」の実態（実状）について定点観測したいといった要望（声）を数多くの企業（業種／部門）から引き続き頂いていた。

従ってESP総研では、最新の「アクティブRFIDビジネスに関する（実態）市場」の全貌、将来の見通しを明確化すべく、当該主要企業・団体（12社・団体）へのインタビューを多面的に実施し、[2011年9月](#)～[2011年10月](#)の間で顕在化している

「アクティブRFID（タグ）」
実態ビジネス&適用分野118セグメントを抽出、ターゲティング分野×ポテンシャル探索・評価、「アクティブRFID（タグ）」
関連ビジネス市場規模の算出を行った。特に重点を置いたのは適用分野：118セグメント別「アクティブRFID（ビジネス）」
のポテンシャル・ターゲット視野／重点ターゲット領域のクロス集計・分析、セグメント「タグ（アクティブ、温度、湿度、運動センサー付きアクティブRFIDなど）、リーダーライター、評価キットなど＜ハードウェア販売＞／ソフトウェア販売（パッケージソフトなど）
／ソリューション（SI）／SI・ソフト開発対応／SI（個別対応）
／コンサルティング、現場調査～コンサルティング／サービス」別「アクティブRFID（タグ）」実態／潜在規模推移（2010年度～2014年度）の将来予測（市場規模算出&予測）である。

今回の調査によって、「アクティブRFID（ビジネス）」市場において、どの分野（セグメント）でどの程度の規模のマーケットが創出され、どのようなスピード（時間）とベクトル（方向性）で拡大していくのか？当該主要各社が「アクティブRFID（タグ）」事業をどのような位置づけとし、どのような差別化戦略を図っていこうとしているのか？などを多面的に調査した。

【『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』 資料目次】

2011年 「アクティブRFID」 ビジネス実態総調査 (T字型調査の実施 : 垂直深堀調査重視)

I. 調査対象リスト一覧 編

- 1) 調査対象プレイヤーの抽出方法 : 「アクティブRFID (ビジネス)」 プレイヤーは?
- 2) 「アクティブRFID」 ポテンシャル・プレイヤー×マーケティング・マトリックス (66社/部門)

II. 総括 編

・ 総括 (結論) 主要各社における 「アクティブRFID」
ビジネスの現状分析とコンサルティング

- 1) 「アクティブRFID (ビジネス)」 の定義範囲について (今回 : [2011年9月](#) ~[2011年10月](#)
の調査結果から)
- 2) 市場概況
(結論) ×ライフサイクル・フェーズにおける現状のポジション&今後のシナリオ予測
- 3) 当該主要12社・団体 (個票要約分析) 全社売上に占める当該売上比率 (1) ~ (2)
- 4-1) 当該主要12社・団体 (個票要約分析) ×当該売上額 (TOTAL) 推移
(2010年度~2014年度) の換算
- 4-2) 当該66社・団体 (個票要約分析から換算) ×当該売上額 (TOTAL) =
「アクティブRFID」 ビジネス市場規模推移<2010年度~2014年度>
- 5-1) 当該主要12社・団体 (個票要約分析) ×ビジネスモデル別 当該売上額推移
(2010年度~2014年度) の換算
- 5-2) 当該主要12社・団体 (個票要約分析) ×当該ビジネスモデル別 構成比率 (%)
推移<2010年度~2014年度>
- 6) 「アクティブRFID」 (ビジネス) の当該市場規模 (感)
- 7) 当該主要12社・団体 (個票要約分析)
ビジネスモデル×売上実績・予測から換算できる当該ビジネスモデル別の変化・シナリオ
<1>当該ビジネスモデル別 売上推移<2010年度~2014年度>
<2>当該ビジネスモデル別 売上構成比率 (%) 推移<2010年度~2014年度>
- 8) 「アクティブRFID (ビジネス)」 の市場占有率<シェア> (2010年度 : 実績)
ならびに当該売上ランキング (2010年度 : 実績) について
- 9) 「アクティブRFID (ビジネス)」 の競合認識、参入プレイヤー数認識
(基本的には国内での認識) ※ 数値 (規模) が入っていないコメントは削除
- 10-1) 主要12社・団体における 「アクティブRFID (ビジネス)」 シーズ別 『タグ

(アクティブ、温度、湿度、運動センサー付きアクティブRFIDなど)、リーダやライタ、評価キットなど<ハードウェア販売>、ソフトウェア販売

(パッケージソフトなど)、ソリューション (SI) / SI・ソフト開発対応/SI

(個別対応)、コンサルティング、現場調査~コンサルティング、サービス』 (平均販売実績) 価格帯×当該売上 (2010年度実績) 相関クロス

10-2) 主要12社・団体における「アクティブRFID」に占める電源・電池比率 (価値比率%、料金・コスト比率%)

11-1) 「アクティブRFID (ビジネス)」×「適用分野」 「販売ターゲット」 (現状) コンサルティング

11-2) 当該12社・団体における「適用分野」別合計点数 (裏付け) 検証 有望度 (全体) ×実績 (多少) クロスMAP

11-3) 適用分野、販売ターゲット<現状>×俯瞰図<<118セグメント別×分類>>【N=12】

12-1) 「アクティブRFID (ビジネス)」実態市場規模推移 「2010年度 (実績)」 (主要12社・団体合計) <適用分野×主要セグメント別>

12-2) 「アクティブRFID (ビジネス)」実態市場規模推移 「2014年度 (予測)」 (主要12社・団体合計) <適用分野×主要セグメント別>

12-3) 「アクティブRFID (ビジネス)」潜在市場規模推移 『ケース1』<適用分野×主要セグメント別> <潜在市場規模 : (株) 日立製作所 認識値 (MIN) より>

12-4) 「アクティブRFID (ビジネス)」潜在市場規模推移 『ケース1』<適用分野×主要セグメント別> <潜在市場規模 : (株) 日立製作所 認識値 (MAX) より>

13) 「個票要約 (12社・団体) 分析」×「適用分野」別比率シェア調査結果

14) 「個票 (12社・団体) 分析」×「技術クロス分布」

15) 個票要約 (12社・団体) 「ビジネスモデル」集計&分析 (1) ~ (3)

16) 「個票要約 (12社・団体) 分析」×「販売チャネル」 (全体俯瞰)

17) 「個票分析 (12社・団体)」×「重点戦略 (直接的/間接的)」×「抽出重複件数 (多い/少ない)」

18) 「個票分析 (12社・団体)」×「重点戦略 (他社との差別化戦略)」<1>~<2>

19-1) 開始時期×当該単年売上規模 (2010年度実績) の相関 (XY軸) 統計<N=12> ※ 1社で複数ビジネスを展開している企業は「ビジネス」毎に開始時期をマッピング

19-2) 開始時期×当該単年売上規模 (2010年度実績) の相関 (XY軸) マッピング<N=12>

20-1) 導入実績 (累計数量ベース) ×金額ベース (当該単年売上 : 2010年度実績) から言えること<N=12>

20-2) 導入実績 (累計数量ベース) ×金額ベース (当該単年売上 : 2010年度実績) の相関統計<N=17>

20-3) 導入実績 (個々の金額ベース) × (当該単年売上 : 2010年度見込)

金額ベースから言えること<N=10>

- 21) 前年比伸長率から見えてくる当該市場概況
<前年比伸長率×コメント・キーワード×当該単年売上規模 クロス><N=10>
- 22) (今後の数値) 目標 (数量ベース、金額ベース) ×当該売上規模 (2010年度実績)
クロス<N=12>
- 23) 今後の売上計画×当該売上規模 (2010年度実績) クロス<N=12>
- 24) 「個票(12社・団体)分析」×「市場拡大要因」 分析 <1>~<2>
- 25) 「個票(12社・団体)分析」×「市場阻害要因」 分析 <1>~<2>
- 26) 「個票(12社・団体)分析」×「ユーザー事例」 分析 <1>~<2>
- 27) 「アクティブRFID」を取り巻く市場概況 (「アクティブRFID」事業の外部環境 全般)
※ [2011年3月11日](#)の大震災時期と比較 <1>~<2>
- 28) 「アクティブRFID」ビジネス主要ベンダ・団体 (今回、深堀調査実施 :
主要12社・団体) 当該売上予測 (2010年度~2014年度 : 5カ年) 推移×ビジネスモデルMAP一覧
- 29) 「アクティブRFID」ベンダ×価格定義&具体的な価格指標一覧 (12社・団体)
- 30-1) 主要12社・団体における「アクティブRFID (ビジネス)」×適用分野
マトリックス一覧 (企業別×適用分野別 星取表) <118セグメント>
- 30-2) 主要12社・団体における「アクティブRFID (ビジネス)」×適用分野
マトリックス一覧 点数化 (適用分野有望度MAP : 俯瞰図)
- 30-3) 主要12社・団体における「アクティブRFID
(ビジネス)」×分野・対象別×全体に占める「適用分野(着眼点と実績)」比率、売上換算
(主要12社・団体) マトリックス一覧 (当該売上、「アクティブRFID」
ビジネス換算売上×ランキング) <<118セグメント>>
- 31) 「アクティブRFID」
ビジネス×実態調査結果・マトリックス<企業・団体別×調査項目別> (12社・団体分)

III. 個票要約 編 (訪問調査中心)

- 1) アイニックス(株) (1) ~ (6)
- 2) (株)アムテックス (1) ~ (5)
- 3) アルテック(株) (1) ~ (5)
- 4) エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア(株) (1) ~ (5-3)
- 5) (株)システムズコンサルタント (1) ~ (5)
- 6) ジャパン・トゥエンティワン(株) (1) ~ (5)
- 7) (株)振興テクノミスト (1) ~ (4)
- 8) ソリッドコンサルティング(株) (1) ~ (4)
- 9) TIS(株) (1) ~ (4)
- 10) (株)日立産機システム (1) ~ (5-4)

- 11) (株)日立製作所 (1) ~ (5-2)
- 12) マイクロ・トーク・システムズ(株) (1) ~ (6-4)

【当該主要プレイヤー×共通ヒアリング項目】

1. 「アクティブRFID」 関連／中核プロダクト&ソリューション (SIなど)
 - 1) 製品 (ハードウェア、ソフトウェア)、ソリューション (SI)、サービス (SaaS、ASPなど) 概要 (具体的なメニュー内容) や料金体系 : 平均導入実績価格 <実績ベースを中心に> など
 - 2) 「アクティブRFID」 に占める電源・電池比率 (価値比率%、料金・コスト比率%)
2. 適用分野・対象エリア (エリア・分野、業種・業務)、販売ターゲット
3. 主要技術
4. ビジネスモデル・販売チャネル
 - 1) ビジネスモデル
 - 2) 販売チャネル
5. 重点戦略・差別化戦略
 - 1) 重点戦略 (売上拡大のための施策・具体的な努力 : 直接的手段or間接的手段など)
 - 2) 他社との差別化戦略
6. 開始時期・導入実績・(今後の) 目標
 - 1) 開始時期 (年 月)
 - 2) 導入実績 (累計数量、アクティブRFID関連 単年売上)
 - 3) 前年比伸長率 (アクティブRFID関連売上で、前年と比べた直近伸長率%)
 - 4) (今後の数値) 目標 (数量ベース、金額ベース)
7. 当該市場規模 (感) / 当該売上計画 (2010年度~2014年度)
 - 1) 当該 (アクティブRFID関連) 市場規模 (感) <2010年度時点 (金額ベース) >
 - 2) 御社における当該 (アクティブRFID関連) 売上計画 (2010年度~2014年度) <金額ベース>
8. 市場拡大要因 / 市場阻害要因 (アクティブRFID)
 - 1) 市場拡大要因 (アクティブRFID)
 - 2) 市場阻害要因 (アクティブRFID)
9. ユーザー事例 / 競合&当該プレイヤー数 (合計) 認識
 - 1) ユーザー事例
 - 2) 競合 / 当該参入プレイヤー数 (合計) 認識 (具体的な競合認識プレイヤー名、当該参入プレイヤー数 合計認識)
10. 「アクティブRFID」 を取り巻く市場概況 (「アクティブRFID」 事業の外部環境 全般)
11. 参考情報
 - <1> URL
 - <2> 電話番号
 - <3> 売上高 (全社)
 - <4> 従業員数
 - <5> 設立年月
12. 当該ビジネス×売上推移 (予測)

【商品概要】

商品名 : 『2011年「アクティブRFID」ビジネス実態総調査』

発刊 : [2011年11月](#)

発行 : 株式会社 ESP総研

調査：株式会社 ESP総研
販売：PLANiDEA SurveyReport運営事務局
判型：A4判 176ページ
価格：
報告書 [印刷版]
99,750円（本体価格 95,000円＋消費税 4,750円）
報告書 [PDF版]
99,750円（本体価格 95,000円＋消費税 4,750円）
報告書セット [PDF版＋製本版]
149,625円（本体価格 142,500円＋消費税 7,125円）

販売ページURL：
<http://planidea.jp/cc/psr120120120>

■ 関連サイトURL

PLANiDEA [SurveyReport]
<http://surveyreport.planidea.jp/>

■ 本件に関するお問合せ先

プラニディア合同会社 広報担当
URL：<http://planidea.jp/contact.html>
E-Mail：info@planidea.jp

Generated by ふれりりプレスリリース
<https://www.prerele.com>